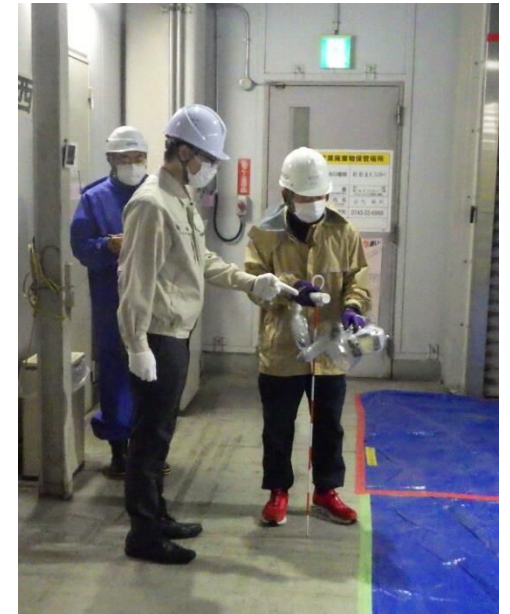


福島県対策地域内の 高濃度PCB廃棄物の処理結果について

令和4年10月
環境省福島地方環境事務所

- 令和4年8月16日、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物をJESCO北海道事業所へ搬入し、PCBの無害化処理を行いました。
- 高濃度PCB廃棄物の処理後物については順次搬出を行い、同年9月5日に全ての処理後物をJESCO北海道事業所から搬出されました。
- 処理期間中は各種モニタリングを行い、各種測定結果について異常値は認められず、安全に処理を完了しました。



- 処理を行った機器数は、処理前にお示した数量と変わらず、**全て表面汚染密度が 4 Bq/cm^2 を下回るもの**に限られました。

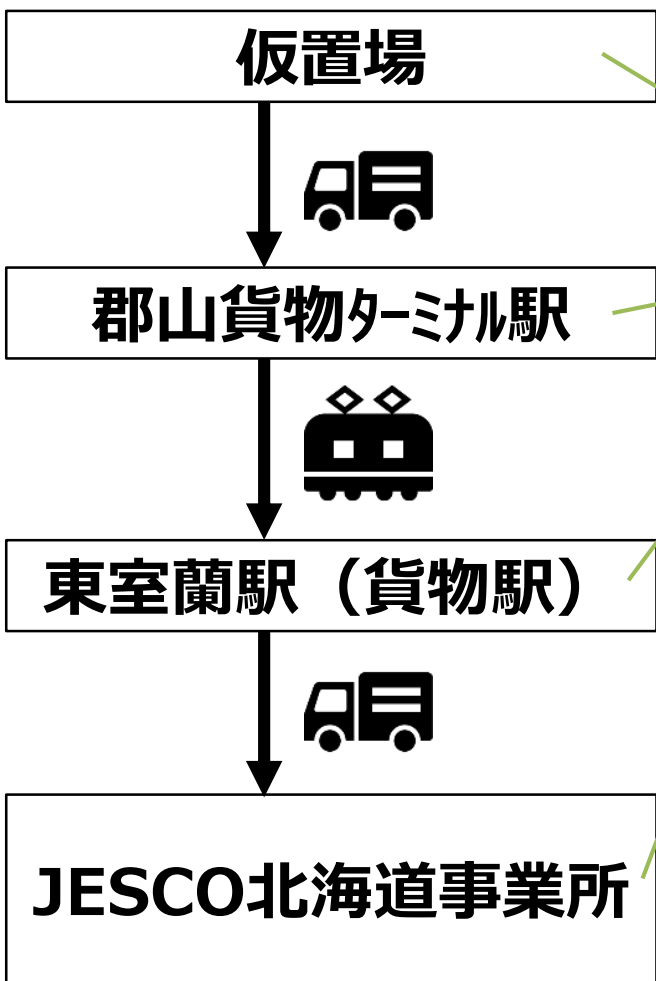
<処理数量>

- ・変圧器：0 台
- ・コンデンサー：32 台
- ・安定器・PCB汚染物等 計1,515 台

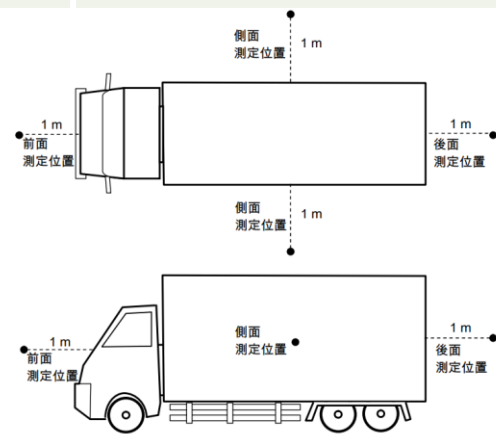
※合計で**トラック3台分**の数量



○ 福島県を出発してからJESCO北海道事業所へ到着するまでの全ての測定地点において、**トラックとその周辺の空間線量率がおおむね同程度であることが確認**されました。
 ※詳細は別紙1のとおり



	バックグラウンド ($\mu\text{Sv/h}$)	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
仮置場	0.08	0.05~0.07
郡山夕駅	0.07	0.04~0.08
東室蘭駅	0.04~0.05	0.03~0.05
JESCO	0.04~0.05	0.04~0.05



※測定は各面でスクリーニングを行い、最も空間線量率が高い箇所で行う。空間線量率の高い箇所が不明な場合は各面の中央で測定を行う。

搬入した機器の表面汚染密度の測定結果

- 搬入した機器の表面汚染密度は、運搬前に全て福島県で測定しており、 4 Bq/cm^2 以下であることを確認しています。
- 安心・安全のための措置として、JESCO北海道事業所に搬入した機器の一部について、処理前に表面汚染密度のサンプル測定を行いました。
- 表面汚染密度の測定結果は、 **4 Bq/cm^2 を超える機器はありませんでした。**

※詳細は別紙2のとおり

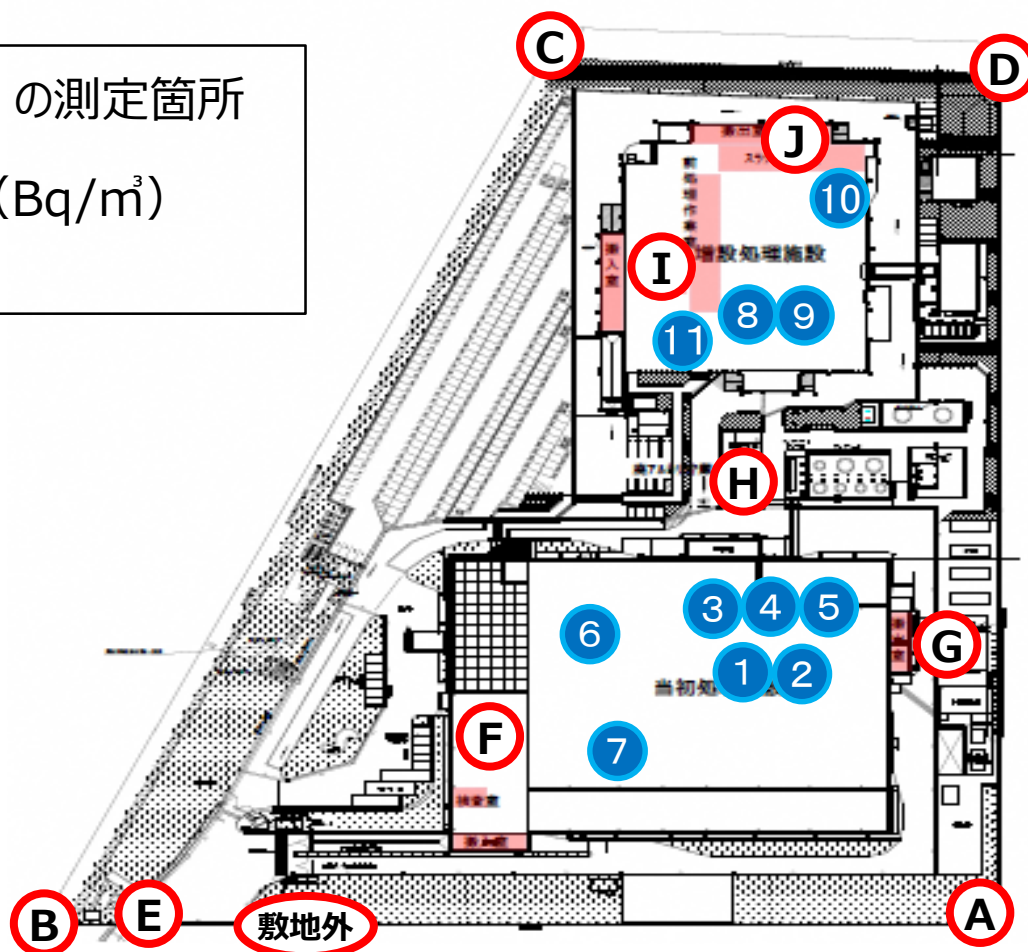
	コンデンサ	安定器
測定数(台)	32	13
バックグラウンド(Bq/cm^2)	0.13	0.12
平均値(Bq/cm^2)	0.18	0.15
最大値(Bq/cm^2)	0.49	0.30



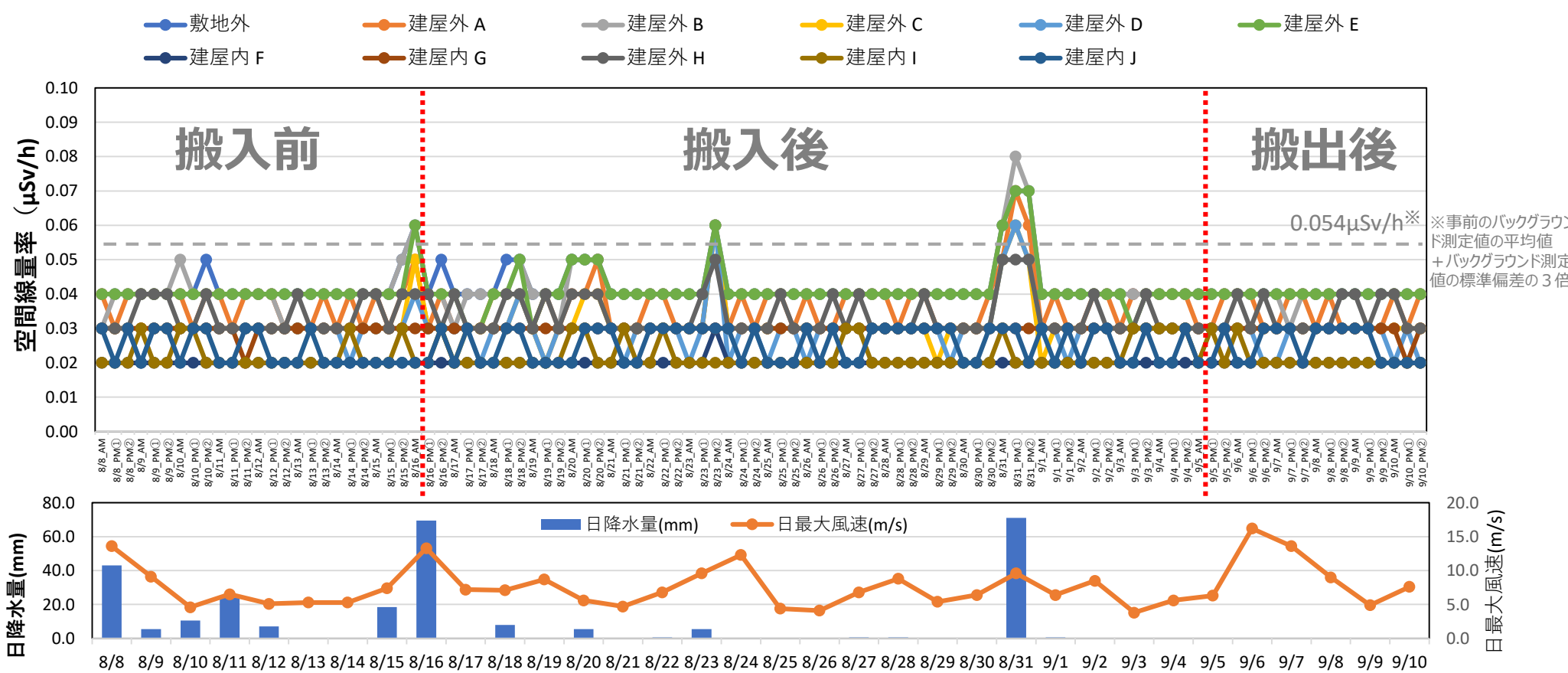
○ 空間線量率は処理期間中に1日3回、排気中の放射能濃度は処理期間中1日1回測定を実施しました。

測定箇所は以下の通りです。（結果は次ページ以降に掲載）

- : 空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$) の測定箇所
- : 排気中の放射能濃度 (Bq/m^3) の測定箇所

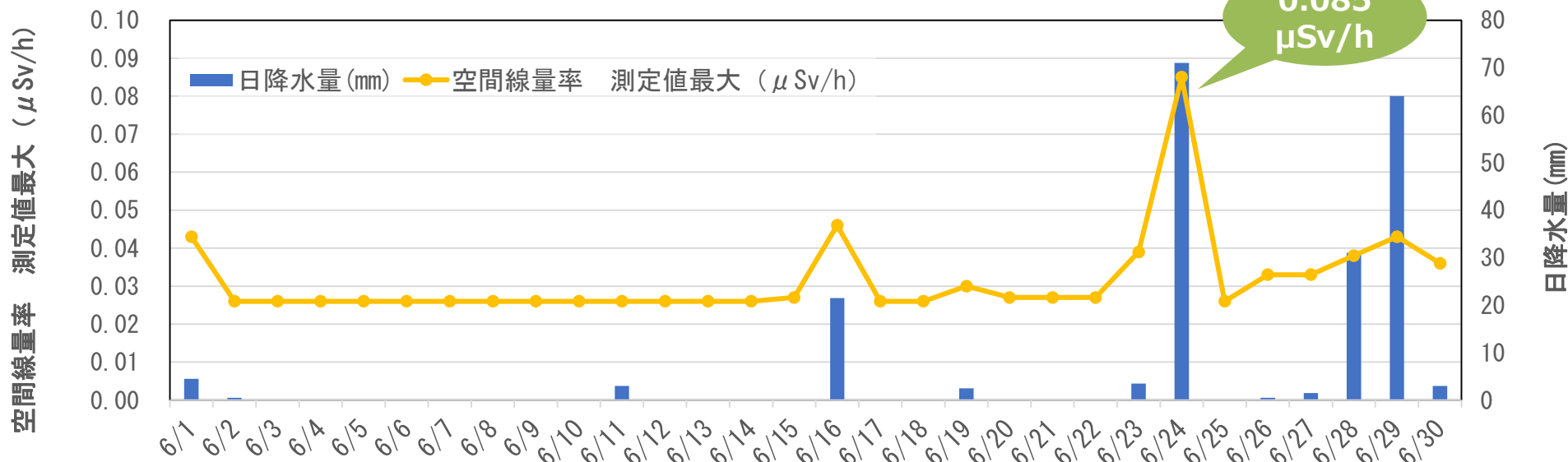


- 福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物による空間線量率の上昇は認められませんでした※。
- 値の上昇が一部ありますが、いずれも降雨があり、この際は原子力規制委員会のモニタリング(@胆振振興局)においても、同様に値の上昇が見られます※。
※詳細は別紙3のとおり



- 一般的に雨の日には、大気中にある天然の放射性物質※が、雨に洗い流されて落下し地表面に集まるため、地表面近傍の空間放射線量が上昇することが知られています。
※ラドンやラドンが壊れてできる物質
- 例えば、胆振振興局におけるモニタリングデータでは、搬入前の本年6月に最大で0.085 μ Sv/hが観測されています。

本年6月における空間放射線量率と日降水量



※原子力規制委員会公表データと気象庁統計データを用いて作成

- 処理期間中における当初施設・増設施設からの排気中の放射能濃度については、**いずれの地点においても検出下限値未満（=ND）でした。**
- 増設施設で発生したばいじんの放射能濃度は、**通常の廃棄物と同様に処理することができる基準（8,000Bq/kg）をはるかに下回りました。**

増設施設におけるばいじん中の放射能濃度

7/26採取
(Bq/kg)

4.1

8/31採取
(Bq/kg)

30.0



当初施設



増設施設

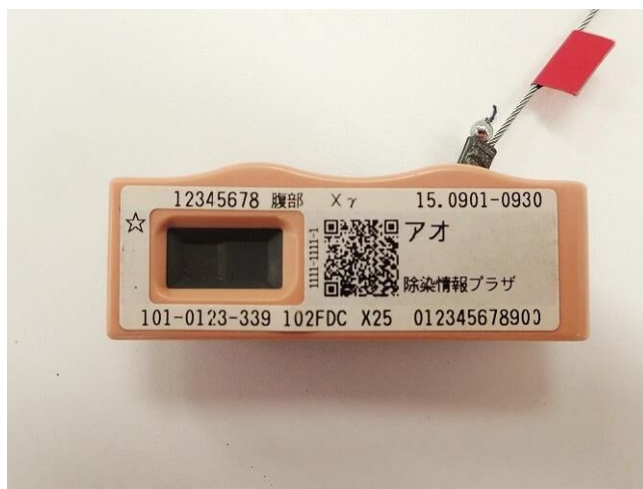
排気中の放射能濃度

	検出箇所			
	ろ紙部(Bq/m ³)		ドレン部(Bq/m ³)	
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs
①	ND	ND	ND	ND
②	ND	ND	ND	ND
③	ND	ND	ND	ND
④	ND	ND	ND	ND
⑤	ND	ND	ND	ND
⑥	ND	ND	ND	ND
⑦	ND	ND	ND	ND
⑧	ND	ND	ND	ND
⑨	ND	ND	ND	ND
⑩	ND	ND	ND	ND
⑪	ND	ND	ND	ND

※ND：検出下限値（1.0Bq/m³）未満

- 北海道・室蘭市から要請された事項に基づき、JESCO北海道事業所で処理作業に従事する職員（計138名）に個人線量計を装着していただきました。
- その結果、**装着した全員が「検出下限値未満※」であることを確認**しました。
※0.1mSv未満

個人線量計の例 (ガラスバッジ式)



装着の例



- 高濃度PCBの無害化処理で発生した処理後物は以下のとおりで、それらは全て福島県へ持ち帰りました。
- 通常の対策地域内廃棄物と同様に、処分を行います。

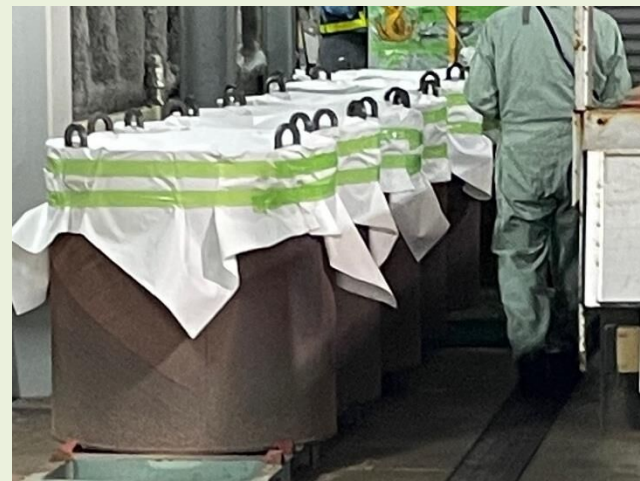
【当初施設から】

素子くず : 432kg
金属くず : 614kg
廃油 : 2,286L
廃アルカリ : 1,706L



【増設施設から】

スラグ : 8,512kg
ばいじん : 752kg



ホームページでの情報公開について

- 処理期間中、空間線量率等のモニタリング結果は、以下の環境省ホームページにおいて、測定したその日のうちに公表を行いました。

http://shiteihaiki.env.go.jp/initiatives_fukushima/waste_disposal/pcb_policy.html

処理後のモニタリングについて

- 処理が完了した後のモニタリングとして、今後、空間線量率・排気中の放射能濃度を測定する予定です。
- 結果は上記ホームページにて公開をします。